九州歯科大学
広報誌

Platys [プラティス]

KDU COMMUNICATION MAGAZINE

Vol.06
2023.9

広報誌タイトル「Platys」の由来

医聖ヒポクラテスは、紀元前にギリシャのコス島のプラタナス（スズカケノキ）の木陰で弟子たちに医学・医術、医の倫理を説いたといわれ、本学にはプラタナスの木とコス島から運んだ巨石があります。プラタナスの語源はギリシャ語の「platys（広い）」であり、大きな葉や広がる枝に由来します。学生たちの豊かな成長と、九州歯科大学の繁栄を願い、「Platys」と命名しました。

特集

【卒業生リモートインタビュー】
学長賞を受賞した卒業生への現役学生リモートインタビュー

■「在学生に聞きました！」
YOUはどこから歯科大へ？

公立大学法人
九州歯科大学

歯学科・卒業生 × 現役学生リモートインタビュー

卒業生、河田先輩に聴く。

第5回 学長賞

第63期生 河田（かわた） 晃宏（あきひろ）さん
九州歯科大学 歯学部歯学科卒業（2015年3月）

大阪、兵庫の大手歯科医院勤務を経て、兵庫県明石市で2023年4月「河田大人こども歯科クリニック」開院。0歳から100歳まであらゆる患者さんを対象に、一般歯科医として幅広い診療に取り組んでいる。

創刊号で好評だった、卒業生へのリモートインタビュー第2弾。今回は、「そんな大した人生を歩んでない」と謙遜される63期の河田 晃宏さんです。河田先輩は卒業後、8年間、一般歯科医（GP）として数件の歯科医院で研修や勤務をした後、今年4月に開業された「ピカピカの1年生」として頑張っています。現役学生のどんな質問にも正直に、時に笑いを交え、丁寧にお答えいただきました。聞きたいことは尽きず、楽しい対談となりました。

interviewer

歯学科 4年
石川（いしかわ） 凛（りん）さん

歯学科 2年
相馬（そうま） 瑠稀（るき）さん

学生時代の勉強と生活

Q 石川 「歯科医師を目指したきっかけ」を教えていただけますか？

理系の中でも資格が取れる医療系学部に進学しようと考え、九州歯科大学が学力的に何とか一致したというのが正直なところです。消極的な動機でしたが、入学してからは楽しくて天職だと思いました。

Q 相馬 学生時代、どのように勉強をされていましたか？

授業をちゃんと聞いて、終わったら復習していました。試験前も復習が中心でしたね。CBT※1のときは、ひたすら過去問を解きました。

Q 石川 生活面についてもお聞きしたいのですが、先輩は節約が得意だと伺いました。どのように工夫などされていましたか？

一人暮らしで自炊をしていました。むちゃくちゃケチの僕ですが、歯科に関する本や材料は「ケチったらあかん」と思っていました。

節約術は、毎月の生活費を決めて、それ以上は銀行から下ろさないこと。クレジットカードも持たないことですね。工夫といえば、ちょっとでも手先が器用になるかなと思い、人参やジャガイモの皮をむくピーラーを1年生のときに捨てたんですよ。全部包丁でむいてました。実習で疲れたときはキツかったけど6年間続けて、今、治療に少し役に立っている気がします。

Q 相馬 学生時代に経験しておいたほうが良いことがあれば、教えてください。

僕はあまり積極的じゃなくて、ちょっと引きこもりだったので「しくじり先生」として言わせてもらいますが（笑）、どんな経験にも意味があり、部活でもバイトでもやっておくべきだと思います。うん、まぁどうなんやろう、今回の対談でも、広報誌ができる流れを知る貴重な経験になると思うんですよ。勉強に限らず、「なにかをやりきる」ってことは大事かもしれないですね。

Q 石川 学長賞を受賞されたことで、何か変化はありましたか？

頑張った結果として、「成功体験のひとつ」となりました。自分の経歴として書けますし、当院のホームページに学長賞のことは載せています。

Q 相馬 「学生時代の歯科医師像」と「歯科医師としての現在」とでは、何か違いはありますか？

学生のときは、歯を削るイメージくらいしかなかったんですよ。実際には外科処置も含めて幅広い治療が求められることを知って、一般歯科医に対するスタンスが変わりました。

東京都出身。この夏は4年ぶりに開催されたオールデンタルに出場。九州歯科大学は硬式テニス部門で総合3位入賞。

現在の仕事（開業医）について

Q 石川 卒業後の進路はどのように決められましたか？開業までの経緯も教えていただけますか？

大学院で研究を続けるか、外に出るか考えたときに、僕は長く仕事を続けられる開業医になろうと思ったんです。卒業後は関西に戻り、研修先は幅広い診療をしている開業医を選びました。勤務医として5年働いた後、アルバイトもしながら開業準備をしました。設備や材料、物件を探したり、他院を見学したり、勉強をしたり。2年ほどの準備期間を経て、今年4月に開業することができました。

Q 相馬 開業資金はどのように準備されたのですか？

貯金しましょう！できるだけ給料を貯めて、贅沢はしないこと。貯金がないと銀行は融資してくれません。診療時間を長くすると暇がなくなるので、貯まりますよ（笑）。

Q 石川 「歯科技工士」と「保育士」免許を取得されていると伺っていますが、取得した理由と勉強方法について教えてください。

開業準備の一環で、他院とは違う特色をつけるために取得しました。どちらも資格を持っている知り合いの歯科医師の真似をしました。歯学部卒業であれば、歯科技工士の受験資格はあるので、主に実技を練習しました。歯型彫刻は仕事でも役に立ってますね。試験は保育士のほうが難しかったです。学校などには通わず過去問を解いて勉強し、2回目で受かりました。

Q 相馬 子どもの患者さんとの関わり方で、保育士の資格を取られたことで役立つことはありましたか？

自分が保育士試験で学んだ心理学と、有名な小児歯科の先生の教えがすごく役に立っています。『子どもを泣かせない17の裏ワザ』という著書に書いてある声掛けの言葉通りにやってますね。「さすが～」「上手～」などと褒める声をかけると、結構うまくいくようです。

Q 石川 院長として、歯科衛生士に求めることは何ですか。また、スタッフさんとはどのようにうまく連携を取っていますか？

僕があまりコミュニケーション力が高くないので、患者さんとコミュニケーションを取り、求められた仕事にしっかり応えてくれる方がいいですね。ありがたいことに、当院では素晴らしいスタッフがそろっていて、本当に助かっています。

スタッフには、患者さんと同じように優しさを向けています。また、『見える化』として、スタッフ同士で感謝したことを「サンキューカード」に書いてスタッフルーム前に貼っています。

Q 相馬 土日に診療をされていますが、患者さんは多いですか？

土曜日開けてる医院は多いですけど、日曜日は少ないですよね。日曜日しか休めない医療難民の患者さんから感謝され、喜ばれていますが、ボロボロの状態で来院されるのでどこから手をつけたらいいかわからない時が多々あります。だからこそ、そういう医院って地域に1つぐらいあっていいんじゃないかなと思ったりします。僕自身は以前の歯科医院でも日曜勤務だったので慣れていますが、スタッフの確保は難しいですね。歯医者って一人でできる仕事じゃないですが、他院との差別化にもなるので、できるだけ開けたいと思います。

Q 石川 休日はどんなふうに過ごしていますか？

休みの火曜日は、買い物や銀行に行ったり、たまった事務作業をしたりといろいろやることが多いです。たまに気が向いたら、以前やっていたランニングをしています。

今後の目標、学生へのメッセージ

Q 相馬 大学では現在、地域貢献を目指して多職種連携を推進しています。先生が考える多職種連携の方法を教えてください。

歯科の場合は、スタディグループへの参加がきっかけになると思います。僕自身はいくつか参加し、他の先生方と連携できる関係が育ってきました。医科に関しては、丁寧に紹介状を書くことを大事にしています。

Q 石川 先生が歯科医師として大事にしていることや、今後の目標について教えてください。

専門性を極める道もあると思いますが、僕の場合は一般歯科医なので、いろんな年齢や症状の患者さん一人ひとりに合わせて、納得してもらえる治療を大事にしています。「目の前のことをちゃんとせなあかん」って常に思いますね。求められたことに応え続けられるよう、自分の引き出しを増やしていきたいです。

Q 相馬 九州歯科大学の特徴や魅力はどんなところでしょうか？

卒業生が全国各地にいることです。歯科医師会の方から誘われ、同窓会に入会するご縁もありました。「大学の先生たちが熱心で、前向きで真面目な学生さんが多く、日本一の大学や」と思っています。

Q 石川 学生や若手歯科医師へメッセージをお願いします。

あまり偉そうなことは言えませんが、「継続は力なり」というのは真理と思うんですよ。勉強でも家事でも、小さな努力を毎日積み重ねることが大事。今頑張っていることを、コツコツ続けてみてください。

愛知県出身。バスケットボール部所属。現在、幹部として部活と勉強と、CBT※1の対策に奮闘中。

※1 CBTとは…「Computer-Based Testing」の略で、各大学独自の試験ではなく、全国共通の試験となります。　ほとんどの歯学部において、4年生後期に実施され、5年生への進級要件になっています。

口腔保健学科・卒業生×現役学生リモートインタビュー

卒業生、根井先輩に聴く。

今回は、熊本市の歯科病院で、歯科衛生士として勤めている4期の根井沙紀子さんにインタビューしました。後輩の質問を優しく受け止め、笑顔でハキハキと答えてくださり、和やかな雰囲気の中で対談は進みました。

interviewer

口腔保健学科 3年
古西 玲摩（ふるにし れま）さん

口腔保健学科 3年
福原 萌々（ふくはら もも）さん

第6回・第9回 学長賞

第4期生 根井 沙紀子（ねい さきこ）さん
九州歯科大学 歯学部口腔保健学科卒業（2017年3月）

宮崎県宮崎市出身。現在、熊本県熊本市の医療法人伊東会伊東歯科口腔病院に歯科衛生士として勤務し、7年目を迎えた。24時間急患体制で入院設備もある医院で、幅広く経験を積んでいる。現在は一般歯科の外来を担当。

学生時代の勉強と生活

Q 古西 「歯科衛生士になろうと思ったきっかけ」は何ですか？

実家が歯科医院をしているので、私にとって歯科衛生士は身近な存在でした。「手に職をつけたい、何か資格を持ちたい」と思って選びました。

Q 福原 九州歯科大学を選んだ理由は何ですか？

高校時代に歯科衛生士学校を探している中で、4年制の公立大学ということが決め手になりました。他の私立大学にも口腔保健学科はありましたが、勉強も自分なりに頑張っていたので、「できるだけ上のレベルを目指そう」と思ったのが理由です。

Q 古西 学生時代はどんな学生でしたか？ また、どのように勉強されていたか教えてください。

どんな学生？う〜ん、普通？普通の学生でした（笑）。結構真面目なほうだったと思います。テスト前は、夜遅くまで必死に勉強してました。大学では友達と一緒にラウンジで問題を出し合ったり、分からないところを聞いたり、ワイワイやってました。やっぱり、一人でやるより友達と知識を共有したほうがはかどります。それに、人に教えると知識も深まりますね。

福岡県出身。バレーボール部所属。
ご飯を食べる動画を見るのが好きです。

Q 福原 得意科目や苦手科目はありましたか？

苦手だったのは、国家試験では避けられない「解剖」です。二人も同じかな？（笑）。覚えないといけないっていう、暗記なので大変ですが、とにかく覚えるまでやっていました。でも、解剖は結構臨床に役立つので、辛いけど、絶対勉強しておいたほうが良いと思いますよ。

Q 古西 学生時代、部活や学外活動などやっておいたほうが良いことがあれば、教えてください。

そうですね。私は陸上部に入ってました。それとアルバイトは絶対にしたほうが良いですよ。私は居酒屋で3年間、週2くらいアルバイトをしていたことで、歯科衛生士として不可欠なコミュニケーション能力が自然と磨かれた感じです。それから、大学時代の勉強が仕事でも役に立っているので、勉強はしっかりしておいたほうが良いかなと思います。

Q 福原 将来、口腔外科に進むとしたら、何を勉強しておくと良いでしょうか？

口腔外科といっても、粘膜疾患とか骨切りとか幅広いので、そういった知識を増やしておくことと、使う器具が外来と比べ物にならないぐらい多いので、そういったのを勉強したらいいかなと思いますね。私は1年目に骨切りの介助やインプラントオペを経験しました。口腔外科について改めて勉強するため、入職してから、学生時代使っていた教科書を引っ張り出してきて必死で覚え、頑張りました。

Q 古西 就職情報はどこから得ていましたか？また、進路を決めたのはいつ頃ですか？

部活の先輩から就職情報をもらうこともありましたし、4年生になってからは一般歯科や病院歯科へ見学にも行きました。友達と一緒にやるといいと思います。最終的に進路を決めたのは、4年生の11月か12月ぐらいでしたね。

Q 福原 就職や結婚などについて、学生時代の想像と実際の違いはありますか？

結婚は早めにしたいなと思ってたんですけど（笑）。残念ながら、まだしていません。仕事に関しては、ずっと臨床がやりたかったので、今ちょっと臨床ができて、まあ想像通りかなと思っています。

現在の仕事（歯科衛生士）について

Q 古西 現在の就職先を選んだ理由は何ですか？

一般歯科だけではなくて、矯正歯科や口腔外科、訪問診療などもあるので、オールマイティーな歯科衛生業務ができると思ったのが志望の理由です。

Q 福原 現在、何科に所属され、どのような業務をされていますか？また、勤務されている病院の特徴などあれば教えてください。

現在、一般歯科外来を担当しています。歯周病も診ますし、虫歯治療も行う一般的な歯科です。最も多い業務は、やっぱりメンテナンスですね。当院では、歯科衛生士も365日夜勤をし、夜勤のときは、急患対応や顎の骨切りの入院患者さんの口腔ケアなどを行っています。また、年ごとに配置が変わります。これまで、矯正歯科や訪問診療に配属されたこともあり、いろいろな分野が学べるのが特徴です。

Q 古西 どのような患者さんが来られますか？

小児から高齢者まで、全ての年代の方を診ています。一般的な歯科患者に加え、24時間365日急患対応をしているので、骨折や歯の外傷の方も来られます。お顔が腫れて炎症が大きい方や痛みが強い方に救急処置を行うことも多いです。

Q 福原 九州歯科大学の附属病院と先輩の職場では、雰囲気が違いますか？

当院は歯科衛生士が40人いて、シフト制で現場を回しています。予約管理や電話対応などもあり、歯科衛生士の負担は少し大きいかもしれません。

Q 古西 就職してから、学生時代の経験が活かされているなと思われていることがあれば、教えてください。

学生時代、人前で発表する機会がたくさんあった経験が、現在は臨床や院内の研修、院外の学会の発表などの場で、コミュニケーション能力の一つとして活かされています。

Q 福原 勤務先での忘れられない出来事があれば、教えてください。

私の忘れられない出来事といえば、12月31日の大晦日に夜勤に入って、治療中に年を越したことですかね。

兵庫県出身。バレーボール部所属。
友達とオシャレなカフェ巡りをするのが好きです。

Q 古西 仕事をしていて、うれしかったことはありますか？

歯科衛生士は患者さんから感謝されることが多いです。「きれいにしてくれて気持ち良かった」というお言葉をいただくと、やりがいを感じますね。

Q 福原 7年続けてこられたのは、なぜだと思いますか？

やりがいのある仕事だからですね。やっぱり1年目は、「きついなぁ」と思ってました。3年目くらいから、だいぶ周りが見えるようになりました。最近は自分でもできることが増え、勉強する余裕も生まれています。また、入職同期が多いことも心強く、悩んだときは相談しています。先輩も年齢が近くて、何でも話しやすい環境があるおかげだと思います。

Q 古西 お休みの日などはどのように過ごされていますか？

職場の方とドライブをしたり、最近ではジムによく行ったりしています。

今後の目標、学生へのメッセージ

Q 福原 進路を決める上で、大切なことやこれは譲れないことなどありましたか？

私は歯周病にすごく興味があって、臨床がやりたかったんです。歯周病に関しては、歯科衛生士の業務が主になるので、臨床を目指すようになりました。同級生の中には、企業に就職したり、大学院に進んだりした人もいました。

進路はまず、自分自身が臨床がしたいのか、営業がしたいのか、研究がしたいのかで変わります。自分のやりたいことを明確にするといいと思います。

Q 古西 これからやりたいことはありますか？

まだまだ歯科衛生士として未熟なので、認定衛生士を取得したりして、ステップアップできればいいなと思って日々頑張っています。

Q 福原 学生にメッセージやアドバイスをお願いします。

私自身、大学時代の経験が今の仕事に大変役立っています。大学でしかできない、いろいろな経験をして、たくさん思い出をつくってください。

河田先輩［歯学科／卒業生］・根井先輩［口腔保健学科／卒業生］との
■リモートインタビューを終えて■

■歯学科・現役学生の声

歯学科4年
石川　凜さん

今回のインタビューでは、学生時代や勤務医時代の過ごし方、開業する経緯、現在の生活や開業している歯科医師として生き残る術などを教えていただき、とても有意義な時間となりました。

歯科医師以外にも、歯科技工士や保育士の免許を取得されている河田先輩の考え方や歯科医療に対する熱意に触れ、自身の歯科医師としての将来像を改めて考えることができる貴重な体験となりました。特に、学生時代に歯科医師として器用になるために、ピーラーを捨てて包丁で野菜の皮をむいていたお話にはとても感銘を受けました。私も4年生として河田先輩のような高い意識で日々過ごしたいと思います。この度は貴重なお話をありがとうございました。

歯学科2年
相馬　瑠稀さん

ユーモアのある河田先輩との対談はリラックスした雰囲気で、とても楽しく有意義な時間となりました。

九州歯科大学入学から開業に至るまでの先輩の歩みは、大変興味深く、多くの刺激を受けることができました。

子どもからご年配の患者さんまで幅広く寄り添う先生のクリニックのコンセプトや、スタッフを大切にし感謝を伝える姿は、私自身が将来医療に携わる者としてどうあるべきかを考えるよい機会となりました。また、医療人にとって、日常で関わる全ての人を大切にすることが必要不可欠であると気付かされました。

今回の対談をきっかけに、歯科医師になる上で私に求められていることは何か、何をすべきかを見つめなおし、学生時代を過ごしていきたいと思います。貴重な学びとなりました。お忙しい中お時間をいただき、ありがとうございました。

■教員からの一言

スタッフの良い点を『見える化』し、モチベーション向上や風通しの良い医院作りにつなげておられるお話を伺いました。

院長としてのきめ細かな心配りやリーダーシップを感じると同時に多くの学びがありました。

九州歯科大学 歯学部歯学科　黒石加代子助教

■口腔保健学科・現役学生の声

口腔保健学科3年
古西　玲摩さん

24時間急患体制での歯科治療の実態を聞くことができ、歯科衛生士の活躍の幅は多岐にわたると実感し、非常に有意義な時間を過ごさせていただきました。

私が1番興味を持ったのは歯科衛生士に夜勤があることです。想像もしてなかったので驚きました。急患を診る際には迅速な判断・行動が求められると思うので、歯科医師、看護師、歯科衛生士の三者がチームとして連携していく重要さを学びました。また、一般歯科では学ぶことのできない顔面外傷や骨切り術などさまざまな症例があり、専門的知識や技術を学び続ける姿勢が大切だと感じました。私も多岐にわたって活躍できる歯科衛生士になるために、日々の実習や勉学に励みたいと改めて思いました。貴重な体験をありがとうございました。

口腔保健学科3年
福原　萌々さん

インタビュアーは初めての経験でしたが、私の拙い質問にも根井先輩がにこやかで和やかな雰囲気で答えてくださり、緊張がほぐれて楽しくお話できました。貴重な時間を過ごさせていただきました。また、根井先輩も自分と同じ試験前に追い込むタイプで、よく友達と勉強していたというエピソードを聞いて親近感が湧きました。

伊東歯科口腔病院は九州歯科大学と違い、夜勤があるなどとても興味深い話を聞くことができました。思っていた通り1、2年目は大変だと聞きましたが、自身の勉強もできる魅力的な面もあり、歯科病院に対するイメージを照らし合わせることができました。また、就職する際にいつから動いたらよいか、自分に合った病院の探し方など今後に役立つ話もあり、就職活動の参考にしていきたいなと思いました。

■教員からの一言

非常に和やかな雰囲気の中、温かくポジティブなお話をたくさん伺うことができました。

学生たちは将来のモデル像として非常に感銘を受け、今後のキャリアを考える上で良い機会となりました。

九州歯科大学 歯学部口腔保健学科　船原まどか講師

令和5年
3月15日(水)

令和4年度 第71回歯学部卒業式・第141回大学院学位記授与式を挙行しました

暖かな日差しに春の訪れが感じられるなか、歯学科93名、口腔保健学科27名、歯学研究科口腔保健学専攻1名、歯学研究科歯学専攻5名の合計126名が新たな門出を迎えました。

式典では、岡西 孝晃さん(歯学科)、加藤 美結さん(口腔保健学科)、山口 瑠奈さん(歯学研究科口腔保健学専攻)、THIRA ROJASAWASTHIENさん(歯学研究科歯学専攻)の4人が代表として西原学長から卒業証書・学位記を授与されました。

歯学科の落窪 嶺さんが卒業生宣誓を述べた後、西原学長は式辞の中で、「これから歯科医療人として口腔保健医療活動に従事するにあたり、『宿命に挑み、夢見て行う』という言葉を贈ります。ぜひ、この思いを胸に抱き、いかなる状況においても、生涯学習の気持ちを持ち続けるなかで、何事においても、常に前向きにチャレンジする精神をもって、歯科医療人としてお励みください」と、卒業生を激励しました。

また、服部 誠太郎 福岡県知事代理の江口 勝 副知事、桐明 和久 福岡県議会議長(司会代読)からご祝辞をいただきました。在学生を代表して原園 絢太さん(歯学科5年生)が送辞を述べ、最後に、卒業生を代表して、歯学科総代の小野 日向子さん、口腔保健学科総代の伊東 璃玖さんが「支えてくださった全ての方々への感謝を胸に、社会貢献できるよう、それぞれの道で励んで参りたい」との決意を述べました。

卒業証書・学位記を受け取る
歯学科代表 岡西 孝晃さん

卒業証書・学位記を受け取る
口腔保健学科代表
加藤 美結さん

ご祝辞を述べられる
江口 勝 副知事

卒業生謝辞代表
歯学科総代 小野 日向子さん
口腔保健学科総代 伊東 璃玖さん

卒業式の後には、謝恩会が華やかに開催されました

卒業式当日の夕刻より、リーガロイヤルホテルにて4年ぶりの謝恩会が開催され、卒業生たちの門出を祝うべく45名の教員および職員が参加しました。

西原学長、粟野学部長、川元附属病院長の挨拶の後、松尾後援会会長より教職員への謝辞と保護者として学生への心温まる激励が述べられました。歓談時の感染予防対策への説明がなされた上で、木尾副学長の乾杯により祝宴が始まりました。卒業式の厳粛さとは異なるリラックスしたムードのなか、和やかで華やかな祝宴となりました。

宴の中盤にはプレゼント抽選会や冨永前附属病院長ら教員への感謝の花束贈呈があり、会を企画した歯学科の落窪 嶺さんら実行委員の皆さんの心憎い演出が随所に散りばめられていました。締めには有田准教授のコンダクトによる校歌斉唱があり、卒業生代表による挨拶の後、参加者一同での記念撮影を行い謝恩会は盛会裏に終了となりました。

令和5年 4月5日(水)

令和5年度 第75回大学・第58回大学院の入学式を挙行しました

桜の花が咲き揃うなか、令和5年度の入学式が執り行われました。今年度は、歯学部歯学科95名、口腔保健学科25名、大学院16名の新入生が歯科医療人としての新たな一歩を踏み出しました。

式典では、西原学長が、明治から昭和にかけて我が国の発展に尽くした実業家として著名な渋沢栄一氏の言葉を紹介し、新入生に対して次のように歓迎の言葉を贈りました。「曰く、『ただそれを知っただけでは上手くいかない。好きになればその道に向かって進む。もしそれを心から楽しむことができれば、いかなる困難にもくじけることなく進むことができるのだ』。本日、この言葉を歯学という学問に置き換えて、学問に対して常に真摯に、高い志をもって、社会に貢献する人材となるまで夢に向かって、楽しく取り組むことを心から念願して、私からの歓迎の言葉とします」。

続いて、服部 誠太郎 福岡県知事の代理として出席された生嶋 亮介 副知事、桐明 和久福岡県議会議長の代理として出席された井上 博隆 副議長のお二方からご祝辞をいただきました。

また、入学生代表宣誓では、学部入学生を代表して、田中 富大さん(歯学科)、神崎 友衣さん(口腔保健学科)、大学院入学生を代表して、袁 荊さん(歯学研究科)が「学則を堅く守り、日々精進します」と宣誓しました。

式辞を述べる西原学長

ご祝辞を述べられる
生嶋 亮介 副知事

ご祝辞を述べられる
井上 博隆 福岡県議会副議長

学部入学生代表宣誓
歯学科 田中 富大さん
口腔保健学科 神崎 友衣さん

大学院入学生代表
歯学研究科 袁 荊さん

令和5年 4月6日(木)

令和5年度 登院式を挙行しました

歯学科5年生101名、口腔保健学科3年生23名の登院式が、九州歯科大学講堂ホールで開催されました。

登院式では、西原学長挨拶の後、川元附属病院長から登院実習にあたり訓示が述べられました。

続いて学生代表として、歯学科5年生73期代表として総代の泉本 圭聖さんと口腔保健学科3年生12期代表として総代の松本 爽花さんが、社会貢献、人格の形成、技術の向上、そして勉学の継続などを誓う宣誓を行いました。

歯学科5年生は4月からクリニカルクラークシップⅠが始まり、9月からのクリニカルクラークシップⅡでは6年生から担当患者を引き継ぎます。本格的な診療参加型臨床実習を、次年度の6年生のクリニカルクラークシップⅢが終了する9月まで行っていきます。

口腔保健学科3年生は4月からの前期セメスターで基礎臨床実習が始まり、後期では応用臨床実習を、次年度の4年生の前期で発展臨床実習を行っていきます。

西原学長

川元附属病院長

学生代表
歯学科総代 泉本 圭聖さん
口腔保健学科総代 松本 爽花さん

令和5年 5月19日(金)・26日(金)

1年生・4年生の「WADSキャンプ」を行いました

北九州国際会議場で「WADSキャンプ」を開催し、歯学科及び口腔保健学科の1年生と歯学科の4年生が参加しました。

WADSは、「We Are Dental Students」の頭文字を組み合わせたもので、学生が歯科医療人としてのプロフェッショナリズムを身につけるための本学独自のプログラムです。今年は日帰りの形式で、4年ぶりにキャンパス外での開催となりました。

歯学科及び口腔保健学科の1年生は「歯科医療人という職業を考える旅」をテーマに、新入生同士で自分たちが将来かかわっていく歯科医療について語り合いました。その中で、自分たちの職業への期待と夢、そして、それを達成するための学生生活について考える機会を持ちました。

歯学科の4年生は「10年後の自分をプロデュースする」をテーマに、先輩歯科医師の話を聞き、学生同士で将来の目標についてディスカッションしました。これにより、自身の歯科医師としてのキャリアについて深く考察する機会を得ました。

この「WADSキャンプ」を通じて、社会に貢献できる歯科医師・歯科衛生士になるための理想と目指すべき道を模索する、価値ある時間となりました。

1年生「WADSキャンプ」

5月19日(金)に開催された「WADSキャンプ」では、まだ話したことのない同期や先生方との交流のきっかけとなり、とても楽しむことができました。

グループで自分たちの理想とする歯科医師像とそのために必要なことを考える活動が特に思い入れが深く、これからの学生生活を送る上で意識して取り組みたいことを互いに話し合うことはとても刺激になりました。

また、国家試験に向けて互いに協力し合いながら日々の学習に取り組む姿勢の基盤を作れたように思います。

歯学科1年 岩切 美優

学科教員による講演の様子

グループでの発表準備の様子

4年生「WADSキャンプ」

5月26日(金)に開催された「WADSキャンプ」に参加し、すごく有意義な時間を過ごすことができました。「WADSキャンプ」は1年次と4年次にありますが、新型コロナウイルス感染症の影響で私たちが1年生のときはオンライン開催となったため、初めて対面で参加させていただきました。

病院勤務の先生、開業医をされている先生、大学院に通っている先生などさまざまな立場の人から話を聞くことができ、今後の自分の歯科医師としてのキャリアを考えるとても良い経験となりました。来年から始まる登院実習の前に、自分のキャリアについて考えるきっかけをいただけたので、今後に活かせるように精進したいと思います。

歯学科4年 石川 凜

学生による口演発表の様子

担当教員によるセッション内容の説明の様子

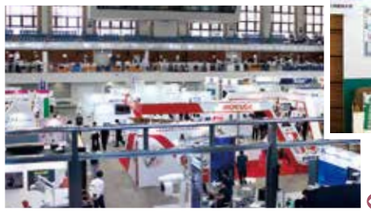
令和5年6月17日(土)・6月18日(日)

九州デンタルショー2023に参加しました

福岡国際センターで開催された「九州デンタルショー2023」に参加しました。デンタルショーは、福岡県をはじめ九州各県から来場される歯科医師、歯科技工士、歯科衛生士ならびに歯科医学及び医療に携わる方々に、最新の歯科医療器械、材料及び薬品等の展示及び医療情報の提供を目的として開催されており、昨年に引き続き、九州の歯科大学5校(九州歯科大学、九州大学、福岡歯科大学、長崎大学、鹿児島大学)すべてのブースが設置されました。

本学のブースでは、パネルの展示と広報誌「Platys」及び「大学案内」の配布を行いました。ブースにお立ち寄りいただいた皆さま、誠にありがとうございました。

九州歯科大学のブース



会場の様子

令和5年6月21日(水)

令和5年度 学生アンバサダー任命式を開催しました

九州歯科大学では、令和4(2022)年度から「学生アンバサダー」制度を実施しています。学生アンバサダーの活動は、大学の魅力の発信、外部への幅広い情報提供等、大学の公式な広報活動に学生ならではの目線で協力するものです。

本年度は歯学部(歯学科、口腔保健学科)と大学院から合わせて20名の有志の学生が、学生アンバサダーとして任命されました。任命式では、西原学長から一人ずつ任命書が手渡され、期待と激励の言葉がかけられました。

本誌の制作は任命式の直後から始動しましたが、早速、各ページに登場してくれています。今後も、大学のリアルな情報をお届けする学生アンバサダーの活躍を、どうぞお楽しみに!

令和5年6月26日(月)・8月22日(火)

福岡県立東筑高等学校・福岡県立戸畑高等学校の皆さんが本学キャンパスを訪問しました

6月26日に東筑高等学校から生徒6名と教諭1名、8月22日に戸畑高等学校から生徒4名と教諭1名の皆さまに高校別キャンパス訪問にご参加いただき、大学の施設見学や模擬実習、模擬講義等を実施しました。

このキャンパス訪問は、大学の雰囲気を高校生に体感していただき、進路を考える際の参考にしていただくことを目的としています。今回の模擬実習では、SimEX(歯科教育用ARシミュレーションシステム)の操作を行い、本学ならではの体験をしていただきました。

キャンパス訪問についてご興味がある方は、本学HPをご確認の上ご連絡ください。

模擬講義を聴く東筑高等学校の皆さん

SimEX体験をする戸畑高等学校の皆さん

令和5年6月26日(月)～6月30日(金)

高雄医科大学と台北医科大学の皆さんが本学を訪問しました

「国際交流プログラム」の一貫として、海外協定大学である高雄医科大学(教員1名、学生2名)、台北医科大学(教員1名、学生4名)の皆さんが本学口腔保健学科を訪問しました。

新型コロナ感染症の影響で、対面での交流は3年ぶりになります。キャンパスツアーの一環として実習施設、研究室、附属病院を見学し、外部協力機関である社会福祉法人兼恵園「シルバーサンホーム」の見学や、訪問歯科診療への随行などの研修を実施しました。特に留学生が学部の実習に参加するプログラムは非常に盛り上がり、学生からは対面で交流ができるようになったことへの喜びの声が多くありました。

九州歯科大学附属病院を見学

本学学生のマネキン実習に参加

基礎分野の研究施設を見学

Our Happy Time

必見! 九歯大のローカル情報コーナー

このコーナーでは、本学の学生さんにお気に入りの景色や場所、食べ物など、自身の学生生活を充実させてくれる“イロイロ”を紹介してもらいながら、将来の夢にも迫ります。九州歯科大学ならではのコアな情報や共感する夢もあるかも!?

歯学科1年
北村 美奈さん

My Happy Time
弓道部

私は、入学して弓道部に入りました。優しくて面白い先輩方ばかりなので、部活に行くのがとても楽しみです。初めて的前に立ったときはとても緊張しましたが、先輩方のように上手く引くことができるよう日々の練習を頑張っています。

入部して気の置けない友達にも出会うことができました。そんな大好きな仲間と一緒にいたり、美味しいものを食べたりする時間が幸せです。将来は、患者さんの思いに寄り添うことのできる歯科医師になりたいです。

口腔保健学科3年
福原 萌々さん

My Happy Time
ダイニングバー・バル
「ジラフモノクローム」

私のお気に入りは、小倉駅近くのとても美味しいパスタのお店「ジラフモノクローム」です。ここのパスタはお店の人が目の前で混ぜてくれます。また、他のメニューもとても美味しいのでオススメです。私の将来の夢は多くの人の口腔衛生状態をよくし、またその人が口腔への関心をもてるようにサポートしていくことです。歳をとっても美味しいご飯を食べれるようなお口をつくる歯科衛生士になりたいです。

大学院(歯学専攻)2年
田ノ上 並紀さん

My Happy Time
テニス

テニスが好きな私は鈍らない程度に、定期的に体を動かしています。右の写真は、部活動生時代に苦楽を共にした戦友です!現在、矯正学、解剖学を専攻し、日々診療や研究に励んでいます。この人に任せたいと思ってもらえるような歯科医師になりたいです。

大学院(歯学専攻)3年
森 涼さん

My Happy Time
愛犬「チェリー」

私が大好きな愛犬チェリーは、昨年16歳で亡くなりました。とても活発で食いしん坊な可愛い子で、家族にたくさんの思い出と幸せをくれました。犬が大好きなので、またいつか新しい子を迎えられたらと思っています。今は大学院生として、臨床と研究に励んでいます。もう3年生となり、後半戦となってきたので学会発表や論文に注力していきます。

大学院(歯学専攻)4年
西澤 悠作さん

My Happy Time
ミクニワールドスタジアム

僕のお気に入りは、ギラヴァンツ北九州のホームスタジアム「ミクニワールドスタジアム」です。選手との距離も近く、海に面しているので眺めも最高です。観戦後に、小倉の街中で飲むビールも最高です!

大学院で歯科矯正という専門性を身につけ、もっと患者さんに喜んでもらえるように研鑽を積みたいです。

在学生に聞きました！

YOUはどこから歯科大へ？

Where did you come from to KDU?

九州歯科大学は、国公立大学の歯学部で唯一100年を超える歴史を持っています。
おかげさまで、現在の学生たちは日本全国、あなたのお住まいの県からも本学の門をたたいてくれています。
今回は、そんな学生たちの2023年度における、出身都道府県別入学者数をご紹介します。

※歯学科6年間（2018年～2023年）、口腔保健学科4年間（2020年～2023年）、大学院（修士・博士）4年間（2020年～2023年）における出身都道府県別入学者数

■ 大学院
■ 口腔保健学科
■ 歯学科

China
Korea
Thailand

韓国（ソウル）出身

歯学科2年
厳（オム）　恵相（ヘサン）さん

ソウルにはハンガンという川があり、ここで夏にはトケビ夜市が、秋には花火大会が開かれます。機会があったらぜひ行ってみてください！

福岡県出身

大学院（口腔保健学専攻）1年
松尾（まつお）　実咲（みさき）さん

門司には、門司港レトロという有名な観光スポットがあります！夜は下関の夜景も見えますし、昼もレトロな雰囲気を楽しめます！

東京都出身

歯学科3年
大川（おおかわ）　小百合（さゆり）さん

高校1年生のとき、月1でディズニーランドに行っていました！

静岡県出身

大学院（歯学専攻）3年
森（もり）　涼（りょう）さん

各地方の集まり「県人会」があり、歓迎会などのときには地元トークに花が咲きます。

佐賀県出身

歯学科1年
北村（きたむら）　美奈（みな）さん

自然が豊かで美味しい食べ物やお店がたくさんあります。
福岡のお隣なので一度足を運んでみてください！

鹿児島県出身

大学院（歯学専攻）2年
田ノ上（たのうえ）　並紀（なみき）さん

ご飯が美味しく、いろんな焼酎が飲めます！

広島県出身

口腔保健学科2年
新井（あらい）　美優香（みゆか）さん

広島県人会では、カープの話で盛り上がったり、地元ならではの話に花が咲きとても楽しかったです！

和歌山県出身

大学院（歯学専攻）4年
西澤（にしざわ）　悠作（ゆうさく）さん

日本でパンダに会えるのは3カ所だけ。その一つが和歌山県のアドベンチャーワールドです。ぜひ、パンダに会いに来てください！

愛知県出身

歯学科4年
石川（いしかわ）　凛（りん）さん

愛知県には味噌カツ、味噌煮込みうどん、ひつまぶし、手羽先など美味しいものがたくさん！ぜひ食べに来てください！

これまでの入学状況など詳細はHPからご覧いただけます。
学部　大学院

入学者の出身都道府県一覧

	歯学部		大学院
	歯学科	口腔保健学科	
北海道	11	0	3
青　森	0	0	0
秋　田	2	0	0
岩　手	2	0	0
宮　城	1	0	0
山　形	1	1	0
福　島	1	0	1
茨　城	3	0	0
栃　木	4	0	0
群　馬	8	0	0
埼　玉	1	0	0
千　葉	4	0	1
東　京	18	0	0
神奈川	7	0	0
新　潟	4	0	0
富　山	1	0	0
石　川	4	0	0
福　井	2	0	0
山　梨	2	0	0
長　野	4	0	0
岐　阜	6	1	0
静　岡	7	0	1
愛　知	16	2	1
三　重	9	1	0
滋　賀	4	2	0
京　都	13	0	0
大　阪	34	0	0
兵　庫	33	4	2
奈　良	13	0	0
和歌山	8	0	1
鳥　取	4	2	0
島　根	5	3	0
岡　山	20	3	3
広　島	30	16	3
山　口	18	2	5
徳　島	6	1	0
香　川	4	0	0
愛　媛	17	2	1
高　知	3	1	1
福　岡	132	31	34
佐　賀	14	1	1
長　崎	19	5	0
熊　本	17	6	3
大　分	10	3	4
宮　崎	13	4	5
鹿児島	12	7	3
沖　縄	22	2	1
韓　国	1	0	0
中　国	0	0	1
タ　イ	0	0	2
合　計	570	100	77

※データは2023年8月21日現在

令和4年度 第20回学長賞受賞者の紹介

九州歯科大学におきましては、学生として模範とするに足る者を学長賞として表彰しております。

右記の通り「令和4年度 第20回学長賞」は歯学科3名、口腔保健学科 2名の方々が受賞されました。

表彰は、下記に該当する学生等に対して行うものとしております。

❶学業成績が特に優秀な学生
❷課外活動において特に優秀な成績を修めた学生個人や学生を構成員とする団体
❸ボランティア活動等の社会活動の功績により、表彰に価すると認められる学生やサークル等グループ

※令和4年度は新型コロナウイルス感染症の影響により活動が制限されたため、課外活動及びボランティア活動等に係る表彰はありませんでした。

❶ 学業成績が特に優秀な学生（学年は令和4年度の学年）

【歯学科】

氏名	学年	選考理由
岡西（おかにし） 孝晃（たかあき）	6年	6年間のGPAが1位
深堀（ふかほり） 瑠菜（るな）	4年	3年次、4年次のGPAが1位
宮原（みやはら） 笙（しょう）	2年	1年次、2年次のGPAが1位

【口腔保健学科】

氏名	学年	選考理由
加藤（かとう） 美結（みゆ）	4年	4年間のGPAが1位
坂本（さかもと） 彩奈（あやな）	2年	1年次、2年次のGPAが1位

※GPA（Grade Point Average）とは、各科目の成績から特定の方式によって算出された学生の成績評価値のことを指します。

第20回学長賞受賞者代表の感想

この賞の受賞は、勉学や部活動に対する私の原動力の一つとなっていました。

環境を整えてくださった先生方、学生課の方々、そして両親に感謝を述べると同時に、一人でも多くの学生が当賞を目標とすることで充実した大学生活を送ってくれることを心から願っています。

受賞者代表 岡西 孝晃

学長賞（卒業生学業成績優秀者）

学長賞（在学生学業成績優秀者）

令和4年度に退職を迎えた教授からのメッセージ

地域歯科医療の中核

冨永（とみなが） 和宏（かずひろ）
九州歯科大学名誉教授
前九州歯科大学 歯学部
顎顔面外科学分野 教授

卒業後一貫して口腔外科学の臨床・教育・研究に携わらせていただきました。九州歯科大学の長い歴史と伝統のおかげで、多くの患者様を地域の医療機関からご紹介いただき、それを背景に治療法の改良や新たな治療法の開発などに取り組むことができました。そのような環境を与えていただいた大学と地域の方々に心よりお礼申し上げます。

歯科医療の中心は生活の質を上げる医療ですが、口腔がん治療などは生命を支える医療でもあり、若手の皆さんがそのような分野にも積極的に参加してくれることを願っています。これからも九州歯科大学が地域歯科医療の中核として、地域から信頼され、地域を支える大学であり続けますように。

本当にありがとうございました

大渡（おおわたり） 凡人（つねと）
九州歯科大学特任教授
九州歯科大学附属病院
歯科医療リスク管理センター
(DEMCOM) センター長
前九州歯科大学 歯学部
リスクマネジメント歯科学分野
教授

短い期間でしたが、大変お世話になりました。ありがとうございました。

人口高齢化を背景に歯科患者さんのリスクは確実に上昇しています。歯科的侵襲は程度の差こそあれ、(全身にも)有害作用をもたらします。患者さんの安全を担保するには、(全身)疾患と薬剤に関連する知識・技術と、それによるリスク管理が必須です。全身的偶発症リスクが一段と高まる将来の歯科医療において、医学的エビデンスをベースに安全を担保でき、他領域の医療従事者と同じ水準で患者さんの医学的背景についてコミュニケーションできる、歯科医療従事者を輩出されますことを祈念いたします。

歯科医師国家試験合格率の推移について

高齢化等による疾病構造の変化に伴って歯科医療に求められる役割も変遷するため、歯科医学教育の内容や国家試験の出題基準も定期的に見直されます。

令和4年度に新たに本学歯学科を卒業した93名が受験した第116回歯科医師国家試験（令和5年1月実施）では、5年ぶりに改定された新しい出題基準が適用されました。本学の新卒出願者数に対する合格者の割合で算出した合格率(注)は81.7%（国立大学平均80.3%・私立大学平均55.5%）でした。この数字の最近5年間の推移を、右のグラフに示しています。

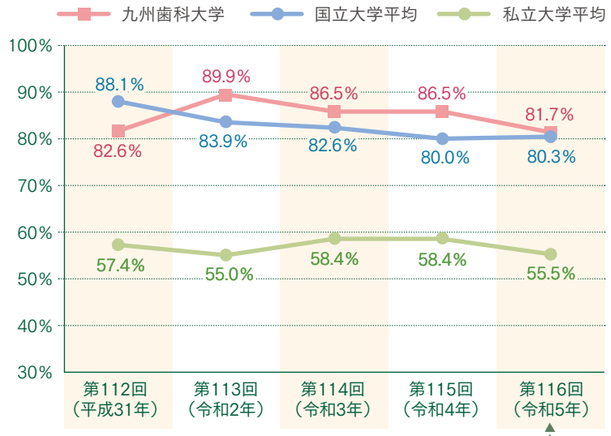
第116回の結果は、国立大学の平均を唯一下回った第112回以来の低いものとなりましたが、それでも国立大学平均を上回っています。

また平均の比較には表れませんが、各大学とも合格率が年によって上下するなか、この5年間を通じて合格率81%を上回っているのは、29校ある全ての歯科医師養成大学で九州歯科大学のみでした。受験生の皆さんもこの辺りは詳しく検討されているようで、3年前から行っている歯学科新入生への本学を志望した理由の調査（複数回答可）では、8割の学生が国家試験の合格率が高いことを挙げています。

これからも教職員一丸となった手厚いサポートを通じて学生諸君の自発的な学びを促すとともに、本学における歯学教育の質の向上に努めてまいります。

歯学科長　竹内　弘

【グラフ】新卒合格率（出願者比 過去5年間）　（文部科学省医学教育課調べ）



＊単位（人）

第116回	出願者数	受験者数	合格者数	合格率（対出願者数）
九州歯科大学	93	93	76	81.7%
国立大学合計	548	545	440	80.3%
私立大学合計	1741	1280	966	55.5%

（注）厚生労働省の報道発表資料による『学校別合格者状況』においては、『合格率』は受験者数に対する合格者数の割合で示されています。大学によっては出願者数と実際に受験をした人数が大きく異なることがありますので、ここでは、大学教育の実態をより正確に反映させるため、新規卒業生の出願者数に対する合格者数の割合を『合格率（対出願者数）』として算出しております。

口腔保健学科就職支援状況

歯学部口腔保健学科の卒業後の進路は、保健医療機関をはじめ、医療関連会社、食品会社などの一般企業、口腔保健医療に関係した行政への関与など、医療資格（歯科衛生士）を活かしての就職はもちろんのこと、4年制大学卒の特徴として学士（口腔保健学）を活かしての就職もあり、右の表に示している通り多様なものとなっています。

また、本学科は国家資格である第一種衛生管理者（労働安全衛生法で規定されている必置資格）を取得できることから、今後は、有害業務を含む業種で労務のスペシャリストとしての活躍も期待しています。

本学科では、就職支援の一環として1年生から「キャリア・デザイン」という科目を開設し、保健医療分野をはじめ各種業界で活躍する方々の講演を聴く機会を設けるなど、将来の就職を見据えた教育を行っています。

就職支援室では、求人票の閲覧、求人情報の検索、就職に関する図書の貸し出しが常時可能で、リモート面接用ブースも設置しています。加えて、求人先に対して本学のホームページにインターネットを通じて、求人情報やインターンシップ情報を配信するシステムを提供しています。

口腔保健学科長　邵　仁浩

【表】口腔保健学科卒業生の進路状況（過去5年間）

＊単位（人）

年度	進学		就職			
	本学	他大学	病院	歯科診療所	団体・公務員	民間企業
令和4年度	1	−	10	14	−	2
令和3年度	−	3	5	12	−	3
令和2年度	1	−	8	11	1	3
令和元年度	1	−	11	11	1	2
平成30年度	1	−	9	9	2	3

コラム No.06

おくちのお話

『災害時こそお口をきれいにしましょう』

「お口の健康が命を守る」。これは、災害時こそ強く意識してほしいことの一つです。

災害が起きると、物資や水不足、慣れない避難所生活等が原因で、お口のケアが十分にできなくなります。そうすると、お口のトラブルだけでなく、インフルエンザや誤嚥性肺炎などの感染症のリスクが高まり、最悪死に至ることもあります。

限られた状況でも工夫してお口のケアができます。

歯ブラシがない場合は、ペットボトルのキャップ1～2杯分の水やお茶を歯やお口全体に行き渡らせるようにぶくぶくうがいをすると良いです。また、つばは口の中の汚れや細菌を洗い流してくれるので、つばを出やすくするように、指を頬や耳の下にあてて、円を描くように回すマッサージもおすすめです。

水不足の場合は、歯磨き粉を使わずに歯磨きをすることで、うがいの水の量を減らすことができます。デンタルリンスや液体ハミガキといった水を必要としないケアグッズも役に立ちます。

いざという時に慌てないために、そして、命を守るために、**非常持ち出し袋の中にお口のケアグッズを常備**しましょう。

九州歯科大学附属病院　歯科衛生室
下坂　桃子

2023年8月 速報

第55回全日本歯科学生総合体育大会（オールデンタル）総合優勝

全日本歯科学生総合体育大会（オールデンタル）はコロナ禍で3年間中止されていましたが、今回、4年ぶりに冬期・夏期大会ともに開催されました。

大会の開催を心待ちにしていた学生達の奮戦の結果、コロナ前の第51回大会に引き続き、本学が総合優勝を果たしました。

次号のPlatys（7号）では、熱戦の模様などを特集予定です。お楽しみに。

卓球部門大会の様子

剣道部門大会の様子

表彰式の様子
（左から）第55回全日本歯科学生体育連盟副会長（昭和大学 学生部長）野中 直子教授、歯学科5年 佐藤 壮一郎さん、歯学科5年 山川 貴裕さん、本学歯学科長 竹内 弘 教授

編集後記

広報誌Platys6号は、アフターコロナを感じられる誌面作りとしました。新企画「YOUはどこから歯科大へ？」では、本学の学生さんが日本中から集っていることがおわかりいただけると思います。皆さまの寄稿、ご感想等をお寄せいただければ幸いです。

［副学長　木尾　哲朗］

Platysをお手に取っていただき、ありがとうございます。本号より、編集に携わることになりました。次号以降もさらなる飛躍を遂げる広報誌をお届けできるよう学生と教職員が一丸となって、取り組んでまいります。どうぞよろしくお願いします。

［広報部会長　有吉　渉］

【表紙写真について】

九州歯科大学本館のエントランスは、日が落ちて暗くなってくると、明るい昼間とは趣の異なる雰囲気になります。天井から吊り下げられた印象的な白いオブジェ『身体―Ryuu-flow』は、2006年に同窓会から寄贈されたもので、「万物と同様、人間の身体と精神においても形あるものは全て変化していく。（中略）常に新しい形と思想に向かって、流れるように変化していくべきであるという思いを込めて、この作品を制作した」と記されています。

九州歯科大学広報誌「Platys［プラティス］」へのご意見・ご感想をお待ちしています。

e-mail:gakusei@kyu-dent.ac.jp

本誌についてのご意見・ご感想をメールにてお寄せください。いただいたご意見は、今後の広報誌編集の参考にさせていただきます。

九州歯科大学の情報は、Web上でもご確認いただけます。

大学HP　大学広報

九州歯科大学広報誌 Platys［プラティス］ 2023年度・夏号
【編集・発行】公立大学法人九州歯科大学　〒803-8580 福岡県北九州市小倉北区真鶴二丁目6番1号
TEL:093-582-1131（代表）　URL: https://www.kyu-dent.ac.jp/
September.2023　Vol.06